

# 令和2年度 事業計画書

# 令和2年度事業計画書

県内の経済情勢は全体的に足踏み状態にあり、県内中小企業の景気の先行き予測については慎重さがみられる。

こうした中、当会社では「中小企業の未来を創造する信頼のパートナー」の経営理念のもと、県の中小企業施策の実施機関として企業の現場を重視し、そのニーズを的確に捉えた支援策をワンストップで展開していく。

令和2年度においては、中小企業の経営基盤の強靱化をはじめ、公社の持つネットワークを生かしたビジネスマッチング支援、新技術・新製品の開発等に取り組む企業への支援や幅広い層を対象とした創業支援などの充実を図り、引き続き本県産業の活性化を推進していく。

## I 企業支援

(単位：千円)

### (1) 経営支援

209,880

経営革新に取り組む県内中小企業・小規模事業者に対し、公社内支援専門家が中心となり様々な相談に対応するとともに、必要に応じて各分野の外部専門家を派遣することにより、課題解決を支援し、経営基盤強化の促進支援を実施する。

令和2年度は、県内中小企業の重要課題である人手不足や事業承継に重点を置き、総合的な支援を展開する。

#### ① 経営相談の実施

県内中小企業の様々な経営課題の解決に当たるため、窓口相談や企業を訪問しての相談を実施する。また、弁護士による法律相談や事業承継に関する税理士等による専門相談を実施する。

ア 経営相談	随時
イ 法律相談	8回
ウ 専門家相談(事業承継)	15回

#### ② 支援専門家の派遣

経営革新や現場改善など中小企業が抱える様々な経営課題について、公社に登録されている幅広い分野の登録専門家の中から課題解決を支援する専門家を派遣する。

ア 専門家派遣企業数	25社
イ 総派遣日数	198日

#### 新③ 中小企業三大課題集中取組事業

県内中小企業の重要課題である人手不足や事業承継に対応するため、「省力化・省人化」「外国人材活用」「事業承継」に関して専門的知見を有するアドバイザーを新たに設置し、課題解決を支援する。

ア アドバイザーの配置	3名
イ 診断、課題整理	300件
ウ 課題解決	100件

#### 新④ SDGs 経営推進事業

県内中小企業のSDGs経営を推進するため、基調講演や事例紹介、具体的な取り組み方等に関するセミナーを実施する。

ア スタートアップセミナー	1回
イ テーマ別セミナー	4回

#### ⑤ マネジメントシステム導入支援

国際規格（ISO）の認証取得、及び事業継続計画（BCP）の導入を支援するため、コンサルティングを実施する。

ア ISO等マネジメントシステム導入支援 支援企業数	2社
イ ISO等フォローアップ支援 支援回数	15回
ウ BCP導入支援 支援企業数	8社
エ BCPフォローアップ支援 支援回数	10回
オ レジリエンス認証導入支援 支援企業数	1社

#### ⑥ 若手経営者支援【フォース21】

県内中小企業の後継者・若手経営者の交流組織「フォース21」を運営し、経営トップとしての資質の向上、人的ネットワークづくりや情報収集体制の構築等について支援する。

ア 定例会の開催	2回
イ テーマ別研究会の開催	4回
ウ 各グループ（9グループ）の活動	随時

#### ⑦ 経営診断等の実施

中小企業診断士資格を有する公社職員を活用し、川口市と戸田市から中小企業の経営診断等を受託する。

ア 経営診断	12回
イ 起業相談会	12回
ウ 地域貢献診断	15回
エ 新技術診断	5回

※ア～ウ：川口市、エ：戸田市

#### ⑧ 「埼玉県よろず支援拠点」の運営

県内中小企業・小規模事業者の経営支援体制をさらに強化するため、国の中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を受託し、埼玉県内の「よろず支援拠点」の実施機関として、総合的・先進的経営支援を実施する。

ア コーディネーター等の配置	20名
イ 相談対応件数	9,660件
ウ 課題解決件数	1,700件

⑨ 「埼玉県プロフェッショナル人材戦略拠点」の運営

県内中堅・中小企業に「攻めの経営」の意欲を喚起し、新たな事業展開を担う高度な「プロフェッショナル人材」を活用した経営革新の実現を促進し、県内経済をけん引する中小企業への成長を支援する。

ア	マネージャー等の配置	6名
イ	相談対応件数	600件
ウ	マッチング成約件数	120件
エ	セミナーの開催	2回

⑩ サービス産業事業者ICT・AI活用支援事業

サービス産業の生産性向上に有効なICTを活用した業務効率化やマーケティング、販路拡大等の取組を支援する。

ア	アドバイザーの配置	3名
イ	相談対応件数	210件
ウ	セミナーの開催	8回

## II 創業・ベンチャー支援

### (1) 創業・ベンチャー支援

120,385

「創業・ベンチャー支援センター埼玉」を運営し、創業前の相談から創業後のフォローアップまでの一貫した創業支援を行う。

創業予定者や新規創業者を対象に、創業準備の進め方や事業計画の作成など様々な相談に対応するとともに、創業に必要な知識を体系的に学ぶためのセミナーやベンチャー企業の成長を促進するための伴走支援やビジネスマッチングを実施する。

人口減少が著しい地域での創業を促進するため、県内9市町村（秩父市、飯能市、本庄市、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、神川町）で起業し、社会問題の解決を目指す者に対して起業支援金を支給する。

#### ① 創業相談

創業予定者・新規創業者に対して、個別のアドバイスや情報提供を行う。

ア 開業アドバイザーによる創業相談（月～土）

創業予定者等の様々な相談に対応し、きめ細かなアドバイスを行う。

イ 士業による創業相談

行政書士会や社会保険労務士会などの士業団体と連携し、許認可申請や社会保険、企業法務などの専門的な相談に対し、専門家がアドバイスを提供する。

#### ② 創業セミナー

創業までの心構えや創業後の営業活動など、創業のステージに合わせた各種セミナーを開催する。

ア 創業セミナー

31回

・創業準備セミナー

・会社設立セミナー

・ネットショップセミナー など

イ 市町村連携セミナー

10回

・女性プチ起業セミナー

・起業への一歩前進セミナー など

#### ③ 女性の創業支援

ア 女性起業支援施設の運営

女性起業支援ルームCOCOオフィスを管理・運営するとともに、アドバイザーを配置して利用者からの相談などに対応する。

イ 女性創業支援チームの運営

女性創業の立ち上げ時から成長期までアドバイザーによる集中サポートを行う。

#### ④ ベンチャー成長支援

ア 彩の国ベンチャーマーケットの開催

1回

資金調達や販路開拓、事業提携などの課題を抱えるベンチャー企業を対象に、ベンチャーキャピタルや金融機関、大手企業とのビジネスマッチングを促進する。

イ ベンチャー支援セミナーの開催

2回

独創的なビジネスモデルや経営戦略を実践している起業家や経営者を講師に迎えたセミナーを開催する。

- ウ 交流会の開催 1回  
創業ベンチャー支援センター埼玉の支援を受けて創業したベンチャー企業相互の交流を図る。

### **新⑤ 伴走支援事業**

成長意欲のあるベンチャー企業に対し、先輩起業家等による助言指導やビジネスマッチング、資金調達等伴走型の支援を行う。

- ア ベンチャー企業に対して伴走支援を実施 10社

### **⑥ 起業支援金事務局の運営**

起業支援金事務局を運営し、起業支援金の支給、伴走支援、事業化等状況報告書の管理等を行う。

- ア 起業支援金の補助 30件

### **⑦ 創業補助金埼玉県事務局の運営**

国の地域需要創造型等起業・創業促進補助金（平成24年度補正及び平成25年度補正）の地域事務局を運営し、事業化等状況報告書の管理等を行う。

## Ⅲ 販路開拓支援

### (1) 取引振興

76,310

中小企業の取引機会を創出するため、広域的な商談会の開催や大規模展示会への出展支援を行う。また、受注企業の最新設備状況等の調査により企業の特色や保有する技術力を把握し、積極的に情報発信することで効果的な取引あっせんを行う。

令和2年度は、取引マッチングコーディネーターを配置し積極的に企業巡回訪問を行いながら新規発注案件の掘り越し、及び受注ニーズの把握に努め、取引拡大を支援する。

#### ① 販路開拓支援

中小企業の取引機会を確保、創出するための広域的な商談会を開催するとともに、大規模な展示会への出展を支援する。

- |   |                     |    |
|---|---------------------|----|
| ア | 彩の国ビジネスアリーナ2021の開催  | 1回 |
| イ | 関東5県ビジネスマッチング商談会の開催 | 1回 |
| ウ | 九都県市合同商談会の開催        | 1回 |
| エ | 地域別商談会の開催           | 4回 |
| オ | 展示会への出展支援           | 1回 |

全国規模の展示会に対し、高度な技術を有する県内中小企業の出展を支援する。

#### 新② 取引マッチングの推進

取引マッチングコーディネーターを配置し、新規発注案件の掘り越し、受注企業ニーズの把握、あっせん後のフォローアップを行うことで取引あっせんによる成約率向上を目指す。

- |   |                    |    |
|---|--------------------|----|
| ア | 取引マッチングコーディネーターの配置 | 1名 |
|---|--------------------|----|

#### ③ 受発注情報の収集・発信

受発注に関わる情報を収集するとともに、受注企業に対しては保有設備の調査を実施する。

- |   |                         |    |
|---|-------------------------|----|
| ア | 受発注情報収集                 |    |
|   | (ア) 新規外注計画調査の実施         | 2回 |
|   | (イ) 設備調査の実施             | 1回 |
| イ | 企業情報の発信（あるある企業情報検索システム） |    |

受注登録企業の情報を公社ホームページに掲載して取引につなげる。

#### ④ 取引に関する相談

- |   |           |    |
|---|-----------|----|
| ア | 下請かけこみ寺相談 | 随時 |
|---|-----------|----|

中小企業が抱える取引上の様々な相談に対応し、下請取引の適正化を推進する。

## (2) 海外ビジネス展開支援

8,708

県内企業のグローバル化への対応を支援するため、世界に通じる技術力、商品力を持ちながらこれまで海外マーケットへのビジネス展開に取り組んでいない企業を積極的に掘り起こす。

令和2年度は、掘り起こした企業をジェトロ埼玉（日本貿易振興機構）と連携しながら各企業の実情に合わせた海外ビジネス展開を支援する。

### ① 海外ビジネス展開の支援

貿易投資や海外販路拡大といった県内企業のニーズを積極的に掘り起こし、ジェトロ埼玉（日本貿易振興機構）と連携しながら海外ビジネス展開を支援する。

- |                     |     |
|---------------------|-----|
| ア 海外ビジネス展開ニーズの掘り起こし | 通年  |
| イ 外国政府関係機関等の招聘      | 1回  |
| ウ 国際情勢勉強会の開催        | 12回 |



# IV 新産業振興

## (1) 先端産業支援

206,619

県の「先端産業創造プロジェクト」を推進するため、「先端産業支援センター埼玉」を運営し、参画企業の製品開発や事業化、販路開拓を支援する。

令和2年度は、有望な先端素材を活用した研究会方式での製品開発や、製品化した医療機器の機器評価や海外販路開拓、次世代住宅産業製品を生かしたCEMSの推進、社会課題の解決に向けたオープンイノベーションの支援、航空・宇宙分野での新規受注先開拓など、プロジェクトのステージアップを目指す。

### ① 先端産業の総合支援

- ア 先端産業コーディネータによる総合相談
- イ 各プロジェクトの取組や企業の開発動向等を紹介する展示コーナーの運営
- 新ウ 社会課題解決型オープンイノベーションの支援

### ② 医療・ヘルスケアプロジェクト推進事業

医療現場のニーズを踏まえた新製品開発と事業化を支援するとともに、新たに海外販路開拓、開発した機器の評価を実施する。

- ア コーディネータによる総合相談 随時
- イ 医療機器三者連携開発評価構築事業  
「医療機関」「ものづくり企業」「製販企業」の三者連携による製品開発、販売
- ウ 医療機器開発支援セミナー 1回
- エ 医療機器安全試験等開発支援セミナー 1回
- オ 先端医療手術機器研究セミナー 2回
- カ 展示商談会・学会への出展支援
- 新キ 医療機関による開発機器のユーザー評価
- 新ク 医療機器の海外販路開拓支援（バイヤー招聘等）

### ③ 新エネルギー製品販路開拓支援事業

次世代住宅産業プロジェクトで開発した製品群のCEMS(地域エネルギーマネジメントシステム)での活用や、新エネルギー分野で開発した技術・試作品の製品化・販路開拓を支援する。

- ア コーディネータによる総合相談 随時
- イ 展示会出展支援
- 新ウ 新エネルギー分野参入支援セミナー
- 新エ CEMS事業参入支援

### ④ 航空・宇宙産業への参入支援事業

- ア 航空・宇宙産業の販路開拓支援（国内・国外）
- イ 航空・宇宙産業認証資格取得補助 3件
- ウ 「航空機産業参入研究会」の開催等 5回
- エ 一貫受注体制の構築支援 2グループ
- オ 人材育成の支援

## ⑤ 先端素材プロジェクト推進事業

販売先となる企業を含めた研究会形式での製品開発を行うほか、新製品開発・販路開拓を支援する。

ア	コーディネータによる総合相談	随時
イ	先端素材人材育成セミナー	4回
ウ	先端素材研究会	4回
エ	展示会出展支援	

## ⑥ ロボットプロジェクト推進事業

今後様々な分野で活用が広がるサービスロボット等の開発、社会実装、販路開拓を支援する。

ア	コーディネータによる総合相談	随時
イ	ロボットビジネス実践講座	3回
ウ	ロボティクスシーズマッチング	5回
エ	分野別研究会	2回
オ	展示会出展支援	

## (2) 中小企業 AI・IoT 活用支援事業

82, 125

「第4次産業革命」を踏まえ、中小製造業等における AI・IoT・ロボットの導入・活用を支援し、生産性向上、省力化等を実現し企業の稼ぐ力を高める。

令和2年度は、新規にロボット導入補助金による導入促進を図るとともに、AI・IoTコンソーシアム運営、ものづくり AI・IoT化支援により、県内中小企業の AI・IoT・ロボット活用を加速化する。

### ① AI・IoT 普及啓発に向けた支援

AI・IoTコーディネータによる情報提供や相談対応を行うほか、最新技術動向や活用事例を紹介するセミナーの開催、IoT活用事例の作成などを行いIoT化の促進を図る。

ア	AI・IoTコーディネータによる総合相談	随時
イ	AI・IoT普及セミナーの開催	8回
ウ	AI・IoT研修（実践）の開催	2回
エ	AI・IoT活用事例の紹介	動画の作成

### ② AI・IoT・ロボット導入支援

AI・IoT・ロボットシステムの導入を促進する構築経費の一部を補助する。

ア	AIトライアル補助金（補助率 2/3）	500万円×3件
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新</span> イ	IOTトライアル補助金（補助率 2/3）	200万円×3件
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新</span> ウ	ロボットトライアル補助金（補助率 2/3）	300万円×3件

### ③ AI・IoT 人材育成支援

AI・IoTシステムを社内で構築する人材を育成する。

ア	AI・IoT人材育成研修（技術者養成）	18日／1回
イ	AI・IoT人材育成研修（導入事例等視察）	6日／1回

ウ オーダーメイド型AI研修

4社

#### 新④ AI・IoTコンソーシアム運営

企業へのAI・IoTの導入・活用を促進するため、企業・大学・研究機関・自治体等が参加するAI・IoTコンソーシアムを運営し、セミナーや展示会等を開催する。

ア AI・IoTコンソーシアム総会

1回

イ セミナー

2回

ウ 中小企業向けIoT・AIツール展示会

1回

#### 新⑤ ものづくりAI・IoT化支援

工場ラインのAI・IoT化を促進するため、簡易で安価なボードコンピュータの活用を体験する研修会を開催する。

ア ボードコンピュータ活用体験研修

4回

### (3) 産学連携支援

6,579

開発力や資金力などが乏しい中小企業が、大学や研究機関の研究シーズ等を活用し、新製品や新技術の開発を迅速・効果的に行えるよう、「産学連携支援センター埼玉」を運営し、中小企業と大学等とのマッチング、競争的資金の獲得、事業化、販路開拓などを一貫支援する。

#### ① 産学連携相談等の実施

産学連携支援センター埼玉を運営し、コーディネータ等による産学連携相談、大学・研究機関とのマッチングや共同研究体の形成、競争的資金の獲得に関する支援を実施する。

ア 産学連携ネットワークマネージャーによる有望な研究シーズや連携先の開拓

イ 産学連携コーディネータによる総合相談、マッチング

随時

ウ 競争的研究開発資金の獲得支援

随時

#### ② 産学連携支援ネットワーク事業

産学連携に取り組む機関で構成する「埼玉県産学連携支援ネットワーク会議」を運営し、情報交換や支援事業の検討を行う。

ア 産学連携支援ネットワーク会議の開催

4回

#### ③ 産学連携に関する情報提供、交流の促進

大学・研究機関の技術シーズの展示紹介や、大学シーズ見学ツアーによる企業とのマッチングを行う「産学連携フェア」の開催や、メールマガジンによる情報発信を実施する。

ア 産学連携技術シーズ発表会の開催

3回

イ 産学連携フェア

1回

ウ メールマガジン

月1回



## (5) 次世代サプライヤー競争力強化支援

28,085

県内自動車関連企業の総合的な相談窓口として「次世代自動車支援センター埼玉」を運営し、技術開発・販路開拓を支援する。

100年に一度の大変革期に挑む県内自動車関連企業に対して、CASEやMaasをキーワードに技術開発、販路開拓を支援する。

### ① 技術相談等による支援

次世代自動車支援センター埼玉を運営し、技術開発コーディネータが県内企業からの技術全般の相談に応じるとともに、研究開発や販路開拓支援を実施する。

ア 技術開発コーディネータによる総合相談 随時

### ② 自動車技術に関する研究開発の支援

100年に一度の大変革期に挑む県内自動車関連企業に対して、研究開発に取り組むことを目的とした研究会を実施するとともに材料費の一部を補助する。

ア モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会の開催 4回  
イ CASE研究会の開催（研究会、視察等） 4回  
ウ 車両分解研究会の開催（最新） 1台  
エ ビジネス交流会の開催 2回  
オ 技術講演会 2回  
カ 試作品開発のための材料費補助 3社

### ③ 自動車メーカーとの取引拡大の支援

県内自動車部品製造企業が有する独創的な技術や新工法を提案し、販路開拓を支援する。

ア 技術ニーズマッチング マレリ（予定）ほか  
イ 埼玉の技発行 1,000部

## (6) 課題解決に向けた企業間連携支援

14,948

企業同士の連携による新製品開発及び販路開拓等を支援することにより、県内企業の収益性の向上を図る。

### ① 企業間連携の促進

特定分野でなく広い見識を持ったコーディネータ等が、環境や防災等の分野において企業間連携により製品開発や販路開拓に取り組む企業を支援する。

ア 企業間連携による開発テーマの伴走支援 5テーマ  
イ 個別相談に応じた企業間連携支援 随時

### ② 企業間連携グループの活動支援

企業間連携により開発した試作品、製品等の販路開拓を支援する。

ア 展示会出展支援 2回

# V 人材育成・情報支援

## (1) 人材育成

52, 632

中小企業を対象とした研修機関として、新入社員から経営幹部までの各階層別の研修やビジネススキル向上につながる実務的な研修を実施する。中小企業の重要な課題である「人材育成」を支援することで企業の経営基盤の強化を図る。

令和2年度は、中堅・管理者向けの階層別研修などを充実させるとともに、新たに土曜日・祝日開催の講座を新設する。企業ニーズに合わせたテーマで、計171回（前年度比21回増）、受講定員4,232人（前年度比490人増）の研修を実施する。

### ① 研修

#### ア 総合力強化研修

新入社員から経営者までの各階層別の研修を計42回実施する。

＜新規研修＞ 管理者のための問題解決力向上研修、工場リーダー育成研修 など

#### イ 生産力向上研修

ものづくりと生産現場の基本的な知識・技法を習得する研修を計31回実施する。

＜新規研修＞ 品質管理の急所を押える手法習得研修、ムダ取り改善実践研修 など

#### ウ 実務スキル向上研修

ビジネスに役立つ様々な知識・技法を習得する研修を計44回実施する。

＜新規研修＞ マニュアル活用入門研修、女性マネジメントのコツ習得研修

#### エ 機械実技訓練研修

県立高等技術専門校と連携し、現場に即した15科目の技能研修を計28回実施する。

#### オ 地域密着研修

川越・熊谷・草加において、企業ニーズの高い研修を計12回実施する。

#### カ コンパクト研修

効率的に受講できる半日単位の研修を計12回実施する。

＜新規研修＞ 顧客分析とヒアリング力向上研修

#### キ プレミアム研修

講義と視察を組み合わせて実践的に学ぶ研修を2回実施する。

＜新規研修＞ 外国人労働者戦力化ノウハウ習得研修

#### ク 特別研修

##### (ア) オーダーメイド企業訪問研修

個別企業の希望に合わせた研修カリキュラムを設計して企業に出向いて実施する。

##### (イ) 地域連携タイアップ研修

県内各地域において、中小企業支援機関などと協働した研修を実施する。

##### (ウ) 通信教育

(株)日本能率協会マネジメントセンターと提携した通信教育を実施する。

### ② 明日を担うものづくり人材育成事業

#### ア 産業教育フェアの開催

埼玉県教育局と連携し、ものづくりの楽しさを伝える体験型イベント等を実施する。

#### イ ものづくりコンテストの協賛

工業高校生による技術・技能を競うコンテストに協賛し、上位入賞者を表彰する。

月刊情報誌「アクセス埼玉」やメールマガジンの発行、中小企業経営に役立つテーマのセミナー開催等を通じて、企業の経営に有益な情報をタイムリーに提供する。

また、中小企業におけるICTの利活用を促進するICT研修（計44回）やICTコンサルティングなどを実施する。

令和2年度は、令和元年度に構築したクラウドサーバーの活用及びセキュリティ対策の強化を図る。

### ① 中小企業情報提供事業

公社事業の紹介をはじめ、中小企業の経営に役立つ情報を幅広くタイムリーに提供する。

ア 月刊情報誌「アクセス埼玉」の発行 年12回

イ メールマガジン「公社 Mail News」の発行 毎月2回配信

ウ 賞与予測調査の実施 県内中小製造業対象・夏季及び冬季

エ 会員優待セミナーの開催 8回

公社会員サービスの一環として、中小企業の経営課題にスポットを当てたセミナーを開催する。

オ 会員交流会の開催 1回

### ② ICT活用サポート事業

ア ICTコンサルティング 6社

ホームページのアクセス数向上や売上向上等を目指す中小企業に対し、専門家を派遣して具体的な解決策をアドバイスする（派遣回数5回以内、派遣費用24,000円/回）。

イ 地域連携ICTセミナー 2回

商工団体等と連携してICTセミナーを県内地域で開催する。

ウ ICT相談 2社

予約制の専門家ICT相談を実施し、ICTスキルの底上げや競争力強化を図る。

エ WEBのお悩みサポート 随時

WEBサイトに悩みを持つ企業にあったサイト制作者を紹介する。

オ ICTスキルアップ研修 28テーマ 44回

利用頻度の高いビジネスソフトなどについて、パソコン実習を中心とした実践的な研修を開催する。

<新規研修> SEO対策基礎研修、Excel業務効率化研修 など

### ③ 公社内ICT管理事業

ア グループウェアシステム管理

イ クラウドサーバーの活用及びセキュリティ対策

## VI その他

### (1) 公社管理運営

476,880

#### ① 総務管理費

公社運営に必要な人件費、管理費及び公社事業全体に係る共通の経費

ア 職員人件費

イ 管理費（事務室使用料、光熱水費、印刷製本費、外部監査経費など）

ウ 総務共通費（福利厚生費、賃金、使用料及び賃借料、負担金など）

#### ② 職員能力開発費

人材育成プランに基づき、中小企業支援サービスの質を向上させるため、高い専門性を持つ自律した人材の育成・開発に取り組むとともに、職員のキャリアプランに沿った能力開発を支援し、総合力のあるプロフェッショナル人材の育成を図る。

ア 職員教育・研修費

(ア) 中小企業診断士更新のための理論研修

(イ) 職位に応じた階層別研修

イ キャリア開発支援費

(ア) 自己啓発支援（各種講習会、セミナー参加）

(イ) 通信講座受講支援

(ウ) 資格取得支援

(エ) グループ研究支援

(オ) キャリアプラン作成支援

### (2) 投資育成事業

1,518

投資育成事業の株式投資先に対してフォローアップ支援を行う。